

安全データシート

作成：2021年3月12日

改定：2024年4月1日

整理番号 POWERTORE P I - 1 0 5

1. 化学物質等および会社情報

1-1 製品

製品名 ①パワトレ P I - 1 0 5
使用分野 ②塗料ミスト処理
製品内容 ③塗料ミスト処理剤

1-2 供給者情報

会社名 ①株式会社 P I
住 所 ②愛知県豊田市陣中町 1-22-6
担当部門 ③薬品事業部 P I ケミストリー
販売者 ④株式会社 P I
電話番号 ⑤0565-77-0106
FAX 番号 ⑥0565-77-5075
緊急連絡先 ⑦0575-77-0106

2. 危険有害性の要約

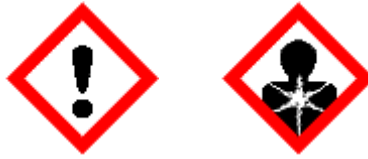
2-1 GHS 分類

◆健康に対する有害性	①急性毒性（経口）	区分外
	②急性毒性（経皮）	区分外
	③急性毒性（吸入：ガス）	区分外
	④急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	区分5
	⑤皮膚腐食性／刺激性	区分2
	⑥眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2
	⑦呼吸器感作性	区分1
	⑧皮膚感作性	区分1
	⑨生殖細胞変異原生	区分外
	⑩発がん性	区分1
	⑪特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	区分1（呼吸器系）
	⑫特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	区分1（歯、呼吸器系）
◆環境に対する有害性	①水生環境有害性（急性）	区分3
	②水生環境有害性（慢性）	区分外

※ 記載がないものは分類対象外または分類できない

2-2 ラベル要素

◆絵表示又はシンボル



◆注意喚起語

①危険

◆危険有害性情報

①吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こす恐れ有。

②発がんの恐れ有

③歯、呼吸器系の障害

◆注意喚起語

①警告

◆危険有害性情報

①吸い込むと有害

②皮膚刺激性あり

③重篤な眼の刺激あり

④アレルギー性皮膚反応を起こす恐れ有

◆注意喚起語

なし

◆危険有害性情報

①水生生物に有害

2-3 取扱注意

◆予防策

①保護手袋・保護眼鏡・保護面を着用する。

②取扱後はよく洗う。

③ミスト・蒸気・スプレーの吸入を避ける。

④使用前に取扱説明書を入手し、注意事項等事前確認すること。

⑤すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

⑥この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

⑦環境への放出を避けること。

◆対応

①皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと・取り除くこと。皮膚を流水・シャワーで洗うこと。

②汚染された衣類を再利用する場合には洗濯をすること。

③眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

④飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

⑤吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

⑥付着した時や気分が悪い時は、医師の診断・手当てを受けること。

⑦暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断・手当てを受けること。

- ◆保管
 - ①製品を使用しない場合には容器は密栓すること。他物質が混入しないように保管する事。凍結させない事。
 - ②凍結した場合には融解して完全に混合してからあ使用すること。
 - ③施錠して保管すること。

- ◆廃棄
 - ①「廃棄物の処理及び清掃に関する法」等に従って焼却処理を行うか、または許可を受けた廃棄物業者に委託して処分する。

3. 組成および成分情報

- ◆物質の特性
 - ①混合物
 - ②カチオンポリマー水溶液
- ◆化学・一般名称
 - ①スプレーミスト処理剤
- ◆臭い
 - ①わずか
- ◆外観
 - ①青みがかった液体

成分	CAS	既存化学物質番号	配合
① 変性芳香族系ポリマ (アミン基含む)	① なし	② -----	未開示
② ホルムアルデヒド	② 50-0-0	② 2-482	② 0.1%未満
③ 塩化水素	③ 7647-01-0	③ -----	③ <1%
④ 水	④ 7732-18-5	④ -----	未開示

◆国連番号 : UN3265

4. 応急措置

- ◆眼に入った場合
 - ◎直ちに多量の清浄な流水で15分間以上洗浄する。コンタクトレンズを着用している場合は極力外すこと。まぶたを指で上げ、同時に眼球をあらゆる方向に動かさせる。痛みのため眼を擦らせないこと。そしてなるべく速やかに眼科医の手当てを受けさせること。
- ◆皮膚に付着した場合
 - ◎服は直ぐに脱ぐ。多量の石鹼水または水で完全に洗い流す。炎症が続く場合は直ちに医師の手当てを受ける。
- ◆吸入した場合
 - ◎汚染された場所から被災者を移動させる。必要な応急措置をとる。直ちに医師の手当てを受ける。
- ◆飲み込んだ場合
 - ◎意識を失っていたり、痙攣を起こしている被災者には口から何も与えないこと。無理に吐き出させない。直ちに医師の手当てを受ける。胃の中のを希釈させるには3～4杯のミルクあるいは水を飲ませる。

9. 物理的及び化学的性質

◆外観	◎青みかかった液体
◆蒸気圧	◎ ~18mmHg
◆蒸気密度	◎ < 1.00 (空気=1)
◆嵩比重	◎ 1.03~1.04 (25°C)
◆溶解度 (水中)	◎ 100%
◆pH	◎ 1.60
◆臭い	◎かすかな臭気
◆揮発速度	◎ < 1.00 (エーテル=1)
◆引火点	なし
◆凝固点	◎ 0°C
◆粘度	◎ 16 CPS (25°C)

10. 安定性及び反応性

◆安定性	◎通常の貯蔵条件では安定。
◆重合性	◎有害な重合を引き起こさない。
◆混合禁止	◎強酸化剤と反応する。酸類と混合して発熱する。
◆分解生成物	◎熱分解性生物：各種元素酸化物

11. 有害性情報

◆経口 LD50 (ラット)	◎ > 10,000mg/kg
◆経皮 LD50 (ラビット)	◎ > 1,250mg/kg
◆吸収 LC50 (ラット)	◎ > 15,000ppm/4hr
◆皮膚炎症スコア RABBIT	◎ 最小
◆眼炎症スコア RABBIT	◎ 最小

12. 環境影響情報

◆水棲生物に対する毒性	◎データなし
◆Bluegill Sunfish	◎ LC50=44
◆96時間整置急性試験	◎影響の現れないレベル=32mg/L
◆Daphnia magna	◎ LC50=2020
◆48時間静置反復試験 (pH調整)	◎影響の現れないレベル=893mg/L
◆FatheadMinnow	◎ 35%死亡率=5,000 mg/L
◆96時間静置試験 48時間反復	◎ 25%死亡率=10mg/L

【生物分解性】

- | | |
|---------|-----------|
| ◆BOD-28 | ◎ 40 mg/L |
| ◆BOD-5 | ◎ 1mg/L |
| ◆COD | ◎ 30mg/L |
| ◆TOC | ◎ 30mg/L |

13. 廃棄上の注意

使用する当該地区ないしは廃棄しようとする地区の廃棄物処理法令に準じて廃棄すること。

- | | |
|---------------|------------------------|
| ◆埋め立て地に廃棄する場合 | ◎非危険性液体廃棄物として固めた後廃棄する。 |
| ◆燃焼処理を行う場合 | ◎燃焼排ガスの処理対策を講ずること。 |

14. 輸送上の注意

運搬に際しては容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下がないよう荷崩れの防止を確実に行う。

- | | |
|--------------------------------|----------|
| ◆国連番号 | ◎ UN3265 |
| ◆DOT ハザード | ◎ ORS |
| ◆DOT EmergencyResponse Guide # | 171 |

15. 適用法令

- | | |
|------------------|---------|
| ◆毒性及び劇物取締法 | ◎該当しない |
| ◆労働安全衛生法 | ◎該当しない |
| ◆海洋汚染防止法 | ◎該当しない |
| ◆水質汚濁防止法 | ◎該当しない |
| ◆航空法 | ◎該当しない |
| ◆危規則 | ◎該当しない |
| ◆消防法 | ◎該当しない |
| ◆化学物質管理促進 PRTR 法 | ◎該当物質なし |
| ◆GHS 分類区分 | ◎該当物質あり |

16. その他の情報

- ◆なし